

榴岡地区 社協だより

第 16 号

(2018 年 3 月 20 日)

榴岡地区社会福祉協議会

発行責任者 末永 榮六

お茶っこサロンへの誘い



榴岡地区社会福祉協議会

会長 末永 榮六

日ごろ、榴岡地区社会福祉協議会の活動に対してご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

当社会福祉協議会では、今年度三会場で延べ十六回の「お茶っこサロン」を開催しました。榴岡市民センター・駅東交流センター・宮城野市営住宅（復興公営住宅）の三つの会場で開催しました。地域の高齢者の皆様が気軽に足を運んでいただき、来易い、身近なところで開催したいとの思いで分散会場としました。サロンは、外部講師を招いて、歌、ギター・三味線の演奏、カラオケ大会等、毎回行う健康体操、高齢者が気軽に足を運んで参加して貰うメニューを用意しています。二時間と言う限られた時間ながら充実した「ふれあいの時間」を提供しています。今年度実施したサロンの中で特に印象深いサロンを紹介いたします。平成 29 年 11 月 10 日に開催しました「クリスマスリース作り」社協・民児協・榴岡市民センター・仙台市緑地協会・の四団体が共催し実施したものです。緑地協会さんには、材料の提供、作り方の指導など全面的な協力をいただきました。作業は直径 30 cm ほどの輪っかに飾り付けを行い完成。初めは、部材の口付けに苦労しているようでした。工程の中盤は頭を左右にかしげ、悩んで、後半は頭を上下させて納得のポーズ、最後は笑顔になり、隣の人、向かいの人と互いの作品をみながら談笑し、満足感に浸る姿を拝見出来ました。ものづくりのたのしさ、達成感を味わっていただけだと思います。

次年度以降も参加者に「笑顔をもたらしサロン」を企画してまいりたいとの思いを強くいたしました。

リース飾りでクリスマスを華やかに



クリスマスリース作りに参加して

宮城野区 石橋美智子

十一月十日駅東交流センターに四十名の方が集まりました。公園緑地協会の先生の方材のお話から始まり、仕上がりイメージを決めます。初めて使うグルーガンには苦労しました。スタッフの方も一人一人にアドバイスしたりお手伝いをして和やかな雰囲気、あつという間の一時間半でした。

それぞれ自分の作品を前にして満足感、達成感、溢れた笑顔が印象的でした。ありがとうございました。

げんき榴岡クラブ

げんきサポート ころと体の健康づくりの場です
 一緒にストレッチや軽い運動で体を動かし
 おしゃべりや唄を一緒に楽しみましょう

- 日 時 / 毎月第3金曜日 午前10時～12時
- 会 場 / 駅東交流センター
- 参加費 / 1回100円 当日いただきます (保険代・その他)
- 持ち物 / 飲み物・タオル・運動しやすい服装



昨年十月に、本校の恒例行事となつてゐる「いきいきふれあいサロン」が榴岡地区社会福祉協議会の皆様のご支援により開催され、地域にお住まいの皆様と一年生が歌やゲームで交流し、楽しいひとときを過ごしました。子どもたちは練習してきた歌を披露したり、いくつかのグループに分かれてお越しいただいた方々とじゃんけんをしたり、肩をもんであげたりして親しく関わらせていただきました。短い時間ではありましたが、子どもたちは、たくさんの方々と直接的なふれあいを通して人とふれあうことの楽しさを感じたようです。人と人との関係やふれあいが希薄になつてゐる現在、このような世代を超えた交流が子供たちにとってはとても意義深く、大事なものであることを実感しました。これからも本校の子どもたちとふれあい、健やかな成長を見守っていただきたいと思います。

いきいきふれあいサロン

仙台市立榴岡小学校 校長 今野 克則



《いきいきふれあいサロン開催》H29.10.4

平成生まれの一年生(144名)と大正・昭和生まれのおばあちゃん、おじいちゃんが子どもたちのリードで体と頭を使い自己紹介、歌、ゲームなど体育館狭しと賑やかで楽しいふれあいの時間を過ごしました。



お茶っこサロン

榴ヶ岡市民センター

開催月 (2017)

4月・6月・8月・10月・12月・2月

12月のサロンは男性参加者も増え、お茶を飲みながら談笑の後、参加者の方から盲導犬・聴導犬・介助犬の話聞き、その後バルーンボランティアの方の指導の基、犬の作り方を教えてもらいました。あちこちでバルーンの割れる音で悲鳴が飛び交い、最後にボランティアの方の作品をじゃんけん争奪戦になり、盛り上がった会となりました。



駅東交流センター

開催月 (2017)

5月・7月・9月・11月・1月・3月



回を重ねるごとに参加者も増え、カラオケやゲームなどで楽しんでいます。1月には餅を食べることが恒例になりました。

宮城野市営住宅自治会 お茶っこサロン

平成 28 年 4 月から自治会発足 2 年という事で、自治会活動として防災訓練参加、継続的な資源ごみ回収、清掃活動、クリスマス会、新年会等を実施して参りました。

社会福祉協議会主催のイベントも継続的に実施でき、住民同士の交流、連帯感なども生まれてきたのではないかと思います。年間 4 回の「お茶っこサロン」では、住民の皆様の会話・絆が深まりました。6 月の「花の寄せ植え」は、参加人数も多く大いに盛り上がりしました。

住民の割合として高齢者が多く、また色んな地域から移住してくるため、活動やイベントで少しでも多くの住民が触れ合える、和気あいあいと談笑出来る場所づくりに努めている日々であります。

宮城野市営住宅自治会 会長 太田康治



ふれあい訪問

伊藤 恒二

一昨年は比較的暖かな晴れた日の訪問でしたが、昨年の十二月十二日は仙台で初積雪が観測された雪の降る日の訪問となりました。

「ふれあい訪問」は、福岡地区社会福祉協議会と福岡地区日赤奉仕団の共催で行っており、七十五歳以上の一人暮らしの方、八十歳以上のご夫婦・世帯を対象に、昨年は合わせて五百四十四名の方々の自宅を、奉仕団員（民生委員）と福祉委員がペアを組み、担当地区ごとに分担し、訪問させて頂きました。訪問の際に持参した心ばかりのお菓子をお渡ししながら近況や健康状態等をお伺いしましたが、ある方は以前は杖をつけていたのが最近は杖なしでも歩けるようで安心しました。当日ご不在のお宅もありましたが、何回か訪問し、の様子をお伺いすることができ、皆様が新しい年も健康に留意され、良い年になりますようにと願いながら帰途に着きました。



編 集 後 記

平成 29 年度は新しい事業として「げんき福岡クラブ」を発足、1 回 100 円の参加費を頂き、開始しております。その他毎年恒例の小学校ふれあいサロン、お茶っこサロンは年間 16 回開催、日赤ふれあい訪問サービスを 12 月（日赤奉仕・民児協・共催）に行いました。地域のコミュニティづくり、高齢者の見守りの活動として重要であると考えられます。小学校ふれあいサロン、地域のお茶っこサロンは今後も続けて参ります。

叶 徹

編 集 委 員

末永榮六・叶 徹・小野圭子・沖野次男・成田美和子・日野陽子・澁谷敦子・伊藤恒二・高田昭美